〈お願い〉

〈重 要〉ご使用の前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155
受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

NWL0001639345B

チャイルド&ジュニアシート

フォームフィット ネクスト

formfit next

取扱説明書／保証書

本製品は、身長76cmから150cmまでのお子さま用です。
ISOFIXバーとトップテザーアンカーを装備した車に使用できます。
但し、ISOFIXバーとトップテザーアンカーを装備した全ての車に取り付けられるものではありません。
取り付ける前に必ず車種適合表をご確認ください。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

UN ECE-R129／03適合　アイサイズ改良型幼児拘束装置
アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置

取り付け方法	お子さまの条件
チャイルドシートモード	身長：76cmかつ月齢15カ月以上～105cm
ブースターシートモード	身長：100cm～150cm

※チャイルドシートモードでは、体重19.5kgを超えるお子さまには使用できません。



※参考 取扱説明動画

ご使用前に 〈P2〉
取り付ける前に 〈P19〉
車への取り付け 〈P22〉
チャイルドシートモード 〈P36〉
ブースターシートモード 〈P40〉
お手入れ 〈P46〉
その他 〈P49〉
保証書 〈P54〉

NWL0001639345B

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて …… 2
保護者の方へのアドバイス …… 2
本書の表示について …… 2
各部のなまえ …… 3
お子さまの条件 …… 7
座席の条件 …… 9
シートベルトの条件 …… 13
ご使用上の注意 …… 15

取り付ける前に

リクライニングのしかた …… 19
パッドの使いかた …… 20

車への取り付け

取り付け準備 …… 22
取り付けかた …… 24
取り付け後の確認／日常点検 …… 30
車からの取り外しかた …… 31
肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の調節のしかた … 34
肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の目安 …… 35

チャイルドシートモード

お子さまの乗せかた …… 36
使用時の確認 …… 39

ブースターシートモード

肩ハーネス・バックルの収納 …… 40
お子さまを乗せる準備 …… 42
お子さまの乗せかた …… 43
使用時の確認 …… 45

お手入れ

シートカバーの取り外しかた …… 46
お手入れ／保管／廃棄のしかた …… 48

その他

困ったときには …… 49
保証について …… 51
アフターサービスについての連絡先 …… 52
MEMO …… 53

保証書

保証書 …… 54

ご使用前に

チャイルドシートについて

・チャイルドシートは自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

〈中古品のご使用について〉

・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

保護者の方へのアドバイス

・お子さまをはじめて車に乗せるときから、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。
・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。
・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問合せください。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

製品の取扱いにおける禁止行為です。

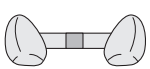
アドバイス　製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

梱包内容 ・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈パッド〉(P20～P21参照)

・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。

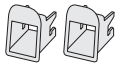


サイドサポートクッション
(使いかたはP20参照)



肩パッドカバー
(使いかたはP20参照)

〈付属品〉



ガイドキャップ(2個)
(使いかたはP24参照)



フィットスペーサー
(使いかたはP27参照)



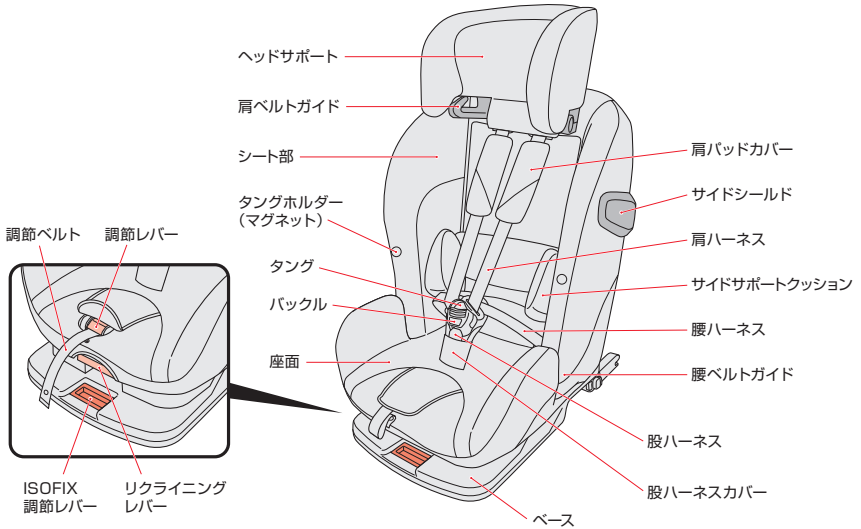
取扱説明書
(本書)

〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

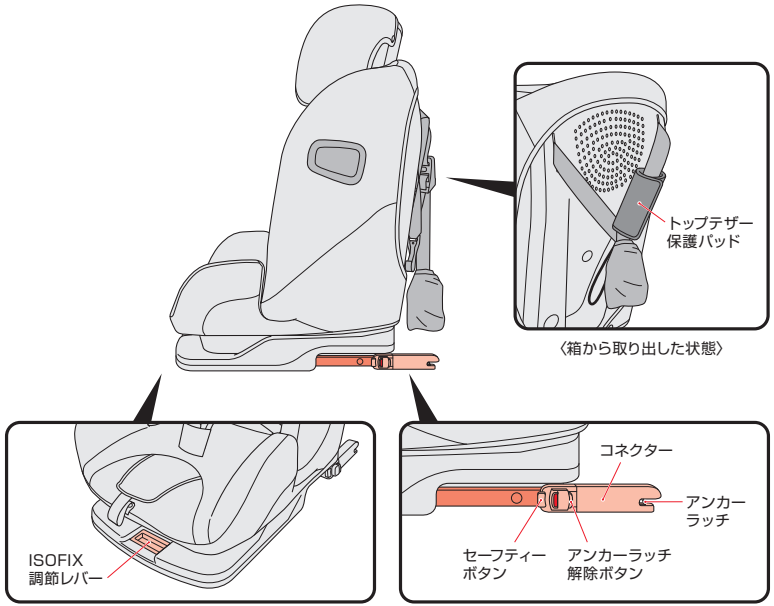
弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

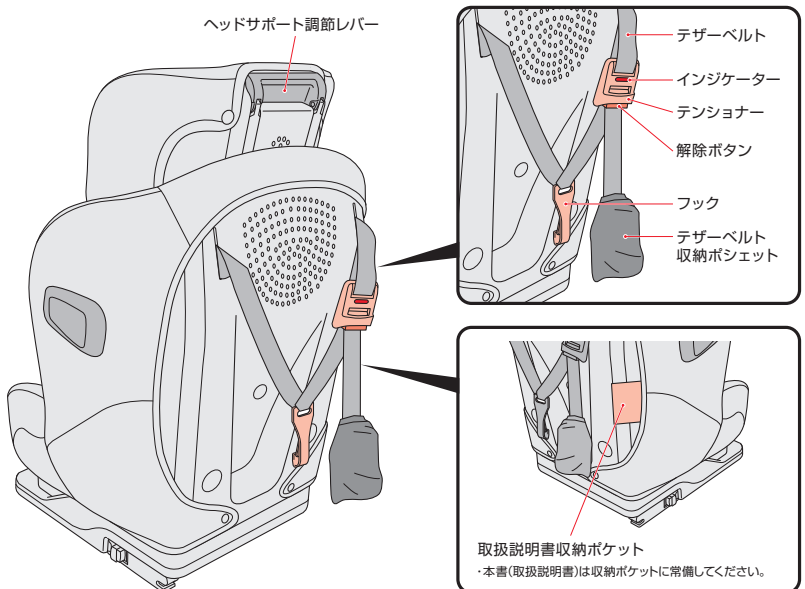
弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

お客様情報登録



各部のなまえ


トップテザー
保護パッド
〈箱から取り出した状態〉
ISOFIX
調節レバー
コネクター
アンカー
ラッチ
セーフティー
ボタン
アンカーラッチ
解除ボタン


ヘッドサポート調節レバー
テザーベルト
インジケーター
テンショナー
解除ボタン
フック
テザーベルト
収納ポシェット
取扱説明書収納ポケット
・本書(取扱説明書)は収納ポケットに常備してください。

お子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
・参考年齢と参考体重は目安です。お子さまの身長に合わせてご使用ください。

危険 ・条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの身長に合わせて、2通りの使いかたがあります。

チャイルドシートモード

身長 76cmかつ月齢15カ月以上～105cm

参考年齢：15カ月～4歳頃
参考体重：9kg～19.5kg

※体重19.5kgを超えるお子さまには使用できません。



・ISOFIXで取り付け。
・トップテザー使用。

・肩ハーネス、腰ハーネスで拘束。

危険 衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・月齢15カ月を超えるまでは使用しない。
・チャイルドシートモードでは、体重19.5kgを超えるお子さまには使用しない。

ブースターシートモード

身長 100cm～150cm

参考年齢：3.5歳頃～12歳頃
参考体重：15kg～36kg

車の座席に合わせ、次の〈A〉、〈B〉いずれかの方法で取り付けます。
(P42参照)

〈A〉
・ISOFIXで取り付け。
・トップテザー使用。

・車のシートベルトで拘束。
（肩ハーネス、バックルを収納）

〈B〉
・ISOFIX収納。
・トップテザー収納。

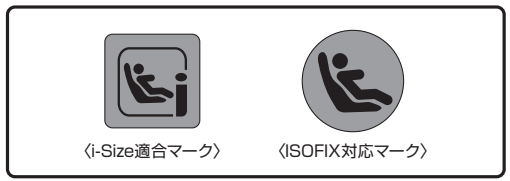
・車のシートベルトで拘束。
（肩ハーネス、バックルを収納）



座席の条件

●本製品は次の条件を満たす座席に取り付けることができます。

車の取扱説明書に i-Size適合、ISOFIX対応 の表記や、下記のマークがある座席。



〈i-Size適合マーク〉　〈ISOFIX対応マーク〉

●本製品は、
チャイルドシートモードでご使用の場合はアイサイズ改良型幼児拘束装置、
ブースターシートモードでご使用の場合はアイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。
アイサイズ改良型幼児拘束装置については、車の取扱説明書をお読みください。

●車への取り付け時の注意

※ISOFIX対応の表記やマークがある座席でも本製品を取り付けられない場合があります。

ご使用の際には、
・必ず車種適合表と車の取扱説明書で取り付け可能かをご確認ください。
・車種適合表につきましては、アップリカホームページ「https://www.aprica.jp/」で最新版がご覧になれます。

最新車種適合表

※身長が135cmを超えるお子さまにご使用の場合、本製品は認可された全ての車に取り付けられない可能性があります。

・取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
前向き	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます 車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください
	前座席：エアバッグを装備している	
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません

・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。
※サイドエアバッグやカーテンエアバックのみの座先には取付けできますが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

：このマークのある座席には取り付けないでください。



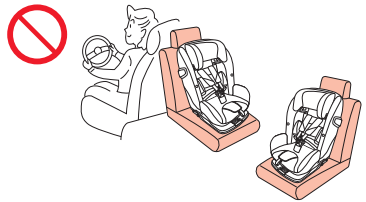
座席の条件

〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

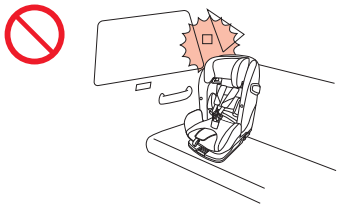
・ヘッドレストとチャイルドシートが干渉する座席。



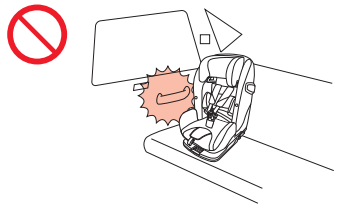
・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・本製品が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



〈取り付けできない座席〉・座席の形状

・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
（極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車など）







・極端に奥行きが短い座席。（補助席や幼児専用座席）



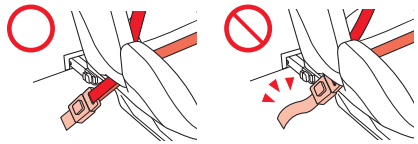
シートベルトの条件

・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類		特　徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト（緊急ロック式巻取装置付）	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR／ELR付シートベルト（チャイルドロック機構付）	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

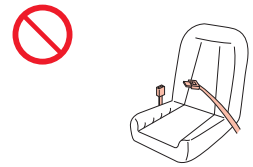
〈シートベルトバックルの正しい位置〉

・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・右図のように、バックルが製品に干渉しバックル側のベルトにたるみが生じる場合は本製品はそのシートベルト及び車ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。（P52参照）

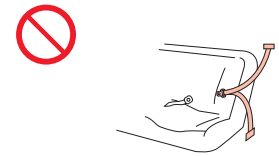


〈使用できないシートベルト〉

・2点式シートベルトの座席。



・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・パッシブシートベルトの座席。（座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席）



・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。

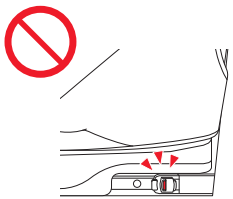


ご使用上の注意

⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・身長76cm未満及び150cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・月齢15カ月を超えるまでは使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・チャイルドシートモードでは、体重19.5㎏を超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。(ISOFIX使用の場合)
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・シートベルトに損傷があるときはジュニアシートモードで使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。



ご使用上の注意

⚠警告　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

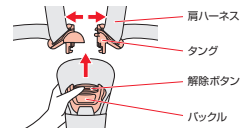
·お子さまをチャイルドシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
·お子さまを一人で車内に残さない。
·肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
·腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
·同時に二人以上で使用しない。
·緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
·チャイルドシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
·肩ハーネス、腰ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
·肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
·車の走行中にハーネス調節、リクライニングなどの操作を行わない。
·チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
·お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
·バックルや可動部に水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタングが差し込みにくい、操作ができないなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。
·事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
·本製品のネジやナット類、ハーネスを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
·シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
·弊社指定アクセサリー以外のものを使用しない。
·本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
·保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
·梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
·パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
·固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
·取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
·極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスやシートベルトを装着しない。ハーネスやシートベルトのゆるみの原因となるおそれがあります。寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

·チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
·可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
·チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
·火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
·通常の椅子として使用しない。
·お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
·お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
·チャイルドシートに重量物を載せない。
·本体に貼り付けられたシールをはがさない。
·屋外に放置し、雨などにさらさない。
·チャイルドシートを周囲のものにぶつけない。
·特に肌の弱いお子さまは靴下や手袋などで肌を保護してください。
生地との摩擦による擦り傷や爪が引っかかる原因となるおそれがあります。
·飲食物がバックルや可動部に入り込まないように注意してください。
故障の原因となります。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスをお子さまから外す。
③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…
●チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。

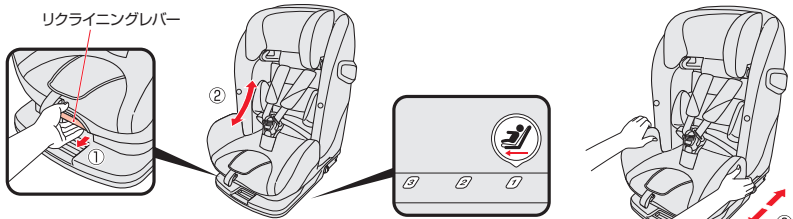


リクライニングのしかた

•3段階に角度を調節することができます。

1 ①リクライニングレバーを手前に引きながら、
②シート部のリクライニング角度を調節し、
リクライニングレバーから手を離す。

2 ③座面部を前後に動かし、ロックされていることを確認する。



アドバイス リクライニングレバーから手を離さないとロックされません。

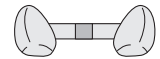
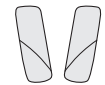
⚠警告
- ・リクライニング操作時は、可動部に手や指などを近づけない。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。
- ・水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入りリクライニングができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・車の走行中にリクライニング操作を行わない。思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠注意
- ・飲食物が可動部に入り込まないように注意してください。故障の原因となります。

パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

使用モード	◯:必ず取り付けてください。 ◯:取り外し可能です。 ⃠:必ず取り外してください。	サイドサポートクッション	肩パッドカバー
			
チャイルドシートモード	身長が76cm～105cm以下	◯	◯
ブースターシートモード	身長が100cm～150cm以下	⃠	⃠

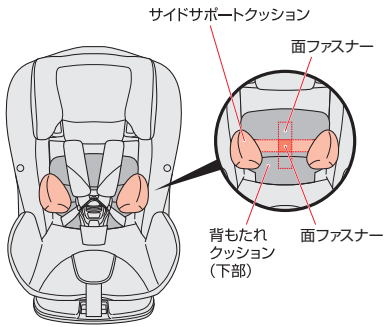
⚠警告
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・パッド類は本製品の専用品であるため、他の製品には使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。

⚠注意
- ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
- ・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。

パッドの使いかた

1 **〈サイドサポートクッションの取り付け・取り外し〉**

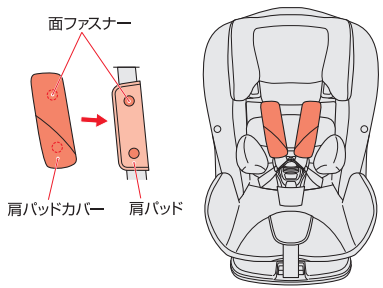
①サイドサポートクッションの面ファスナーを背もたれクッション(下部)裏側の面ファスナーにとめる。
取り外しは逆の手順で行ってください。



アドバイス サイドサポートクッションは、お子さまの体が左右に倒れないように体幹をサポートします。お子さまの体格に合わせて面ファスナーの取り付け位置を変更し高さを調節してください。

2 **〈肩パッドカバーの取り付け・取り外し〉**

肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付ける。
取り付け後は肩パッドカバーが確実に取り付けられていることを確認する。
取り外しは逆の手順で行ってください。



注意
・肩パッドは取り外しできません。

取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。
やむを得ず前座席に取り付ける場合は、座席をいちばん後ろまで移動(スライド)させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。

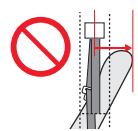
●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付けできない場合があります。
詳しくはP9～P14を参照してください。

危険
・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

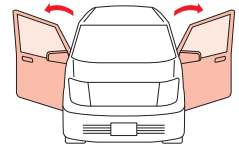
警告
・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

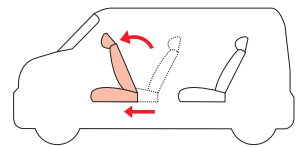


1 **〈取り付け作業のスペース確保〉**

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

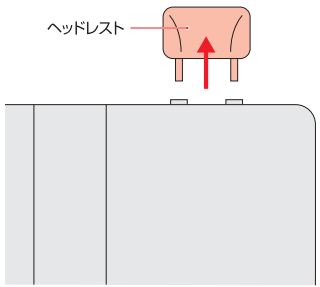


②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。

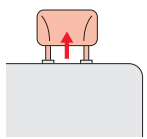


取り付け準備

2 **〈取り付ける座席の準備〉**
・ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
・取り外したヘッドレストはトランクルームや
カーゴルームに保管すること。



アドバイス ヘッドレストが取り外せない場合は、一番上まで上げる。



警告

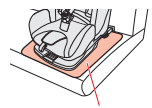
・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。
衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

アドバイス

・チャイルドシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。

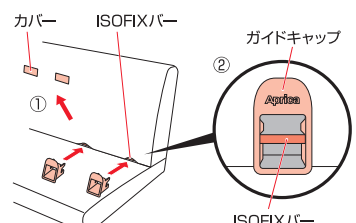


・シート保護マットは、本製品をISOFIXで取り付ける場合のみ使用可能です。

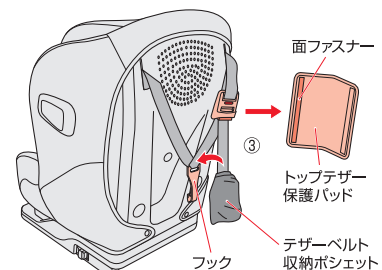
取り付けかた

1 ①ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを取り外す。(左右)
②ISOFIXバーが車のシートにかくれて見えにくい場合は、ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み取り付ける。(左右)

アドバイス 車によってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。



2 ③トップテザー保護パッドを取り外し、フックをテザーベルト収納ポシェットから出す。



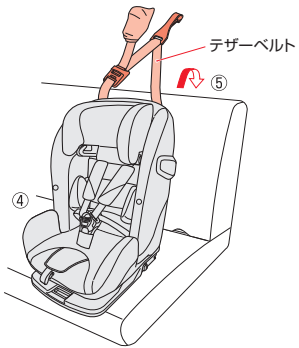
警告

・取り外したトップテザー保護パッドは座席などの乗車空間に放置しない。
衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

取り付けかた

3

④本体を車の座席にのせる。
⑤テザーベルトを座席の後方に引き出す。



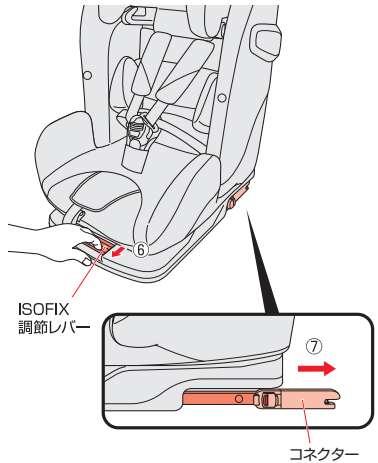
アドバイス

・車にトノカバーなどが装備されていて、トップテザーベルトが後方へ引き出せない場合は、座席を前側に倒してください。詳しくは車の取扱説明書をお読みください。



4

⑥ISOFIX調節レバーを引きながら、
⑦左右のコネクターを最後まで後方に引き出す。

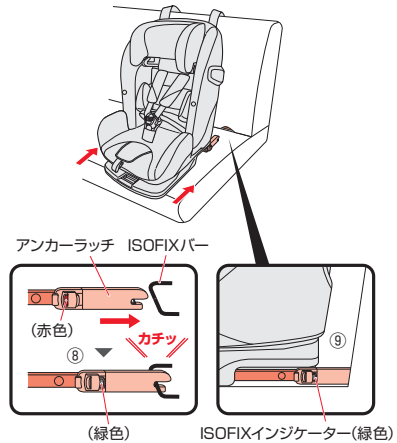


5

⑧左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を左右同時に押し込む。
⑨左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。

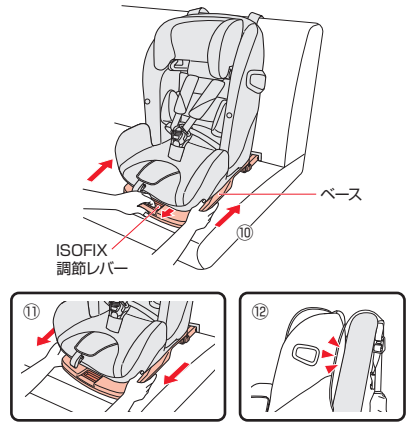
アドバイス

ベースが押し込みにくい場合は、
・ベース前部を持ち上げ、ベースの角度を調節しながら押し込んでください。



6

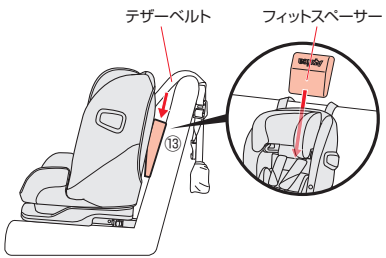
⑩ISOFIX調節レバーを引きながら車の座席の背もたれに接するまでベースを押しつける。
⑪ISOFIX調節レバーから指を放し、調節レバーが戻っていることを確認後にベースを手前に引き、動かないことを確認する。
⑫リクライニングが出来る座席の場合は、座席の背もたれとチャイルドシート上部が接するように調節する。



7 〈フィットスペーサーを取り付ける〉

⑬座席の背もたれとチャイルドシート上部に隙間が生じる場合はフィットスペーサーを取り付ける。

・フィットスペーサーはテザーベルトに干渉しない位置まで下げてお使いください。



⚠警告

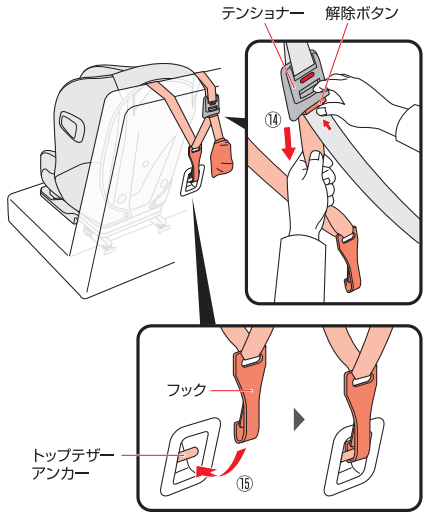
・フィットスペーサーを取り付けた状態でチャイルドシート上部を後方に押した際に3cm以上動く場合は本製品を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



8

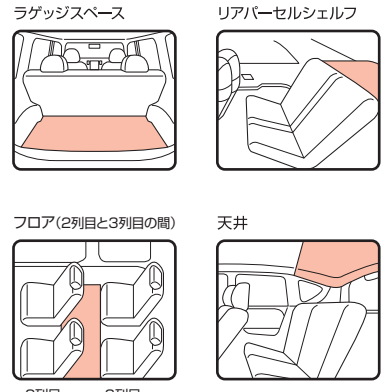
⑭テンショナーの解除ボタンを押し、テザーベルトをゆるめる。

⑮トップテザーアンカー(シート背面)にフックを固定する。



〈トップテザーアンカー位置〉

トップテザーアンカーとは、テザーベルトのフックを固定するために、車の座席の背もたれに装備された金具(バー)です。トップテザーアンカーの名称や位置は車により異なる場合がありますので、必ず車の取扱説明書を確認してください。

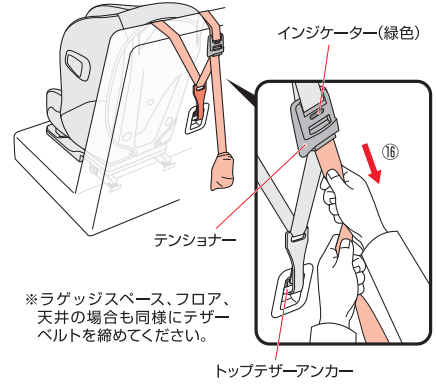


〈テザーベルトの締め方〉

9

⑯テンショナーのインジケーターが緑色になるまでテザーベルトを強く締める。

・トップテザーアンカーがシート背面の場合

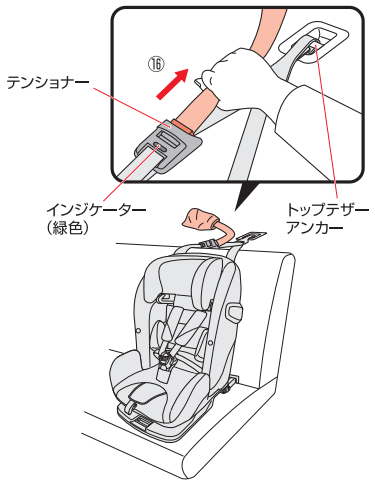


※ラゲッジスペース、フロア、天井の場合も同様にテザーベルトを締めてください。

アドバイス ・トップテザーベルトを引っ張る方向はトップテザーアンカーの位置によってことなります。

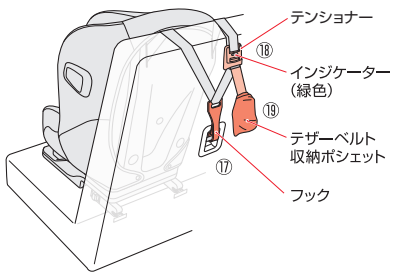
取り付けかた

・トップテザーアンカーがリアパーセルシェルフの場合



10

⑰テザーベルトのフックが確実に固定されていることを確認する。
⑱インジケーターが緑色であることを確認する。
⑲あまったテザーベルトをテザーベルト収納ポシェットに収納する。



アドバイス 取り付け後のテンショナーの位置は車種によって異なります。

警告
・取り付け完了後、テンショナーの解除ボタンやフックなどを他のお子さまに触らせない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付け後の確認／日常点検

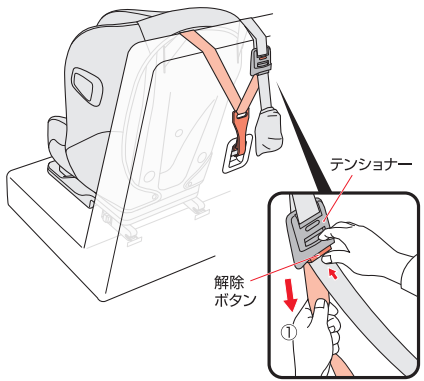
・取り付け後やお子さまを乗せる前には毎回、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に充分性能を発揮できません。



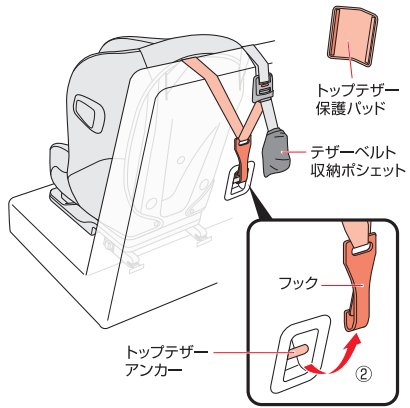
・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P24〜P29の手順で取り付け直してください。

車からの取り外しかた

1 ①テンショナーの解除ボタンを押し、テザーベルトをゆるめる。



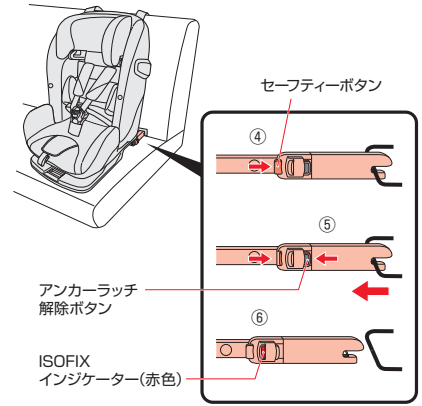
2 ②テザーベルトのフックを取り外す。
・テザーベルトとフックをテザーベルト収納ポシェットに収納する。
・テンショナーにトップテザー保護パッドを取り付ける。



3 ③ISOFIX調節レバーを引きながら、ベースを手前に引く。

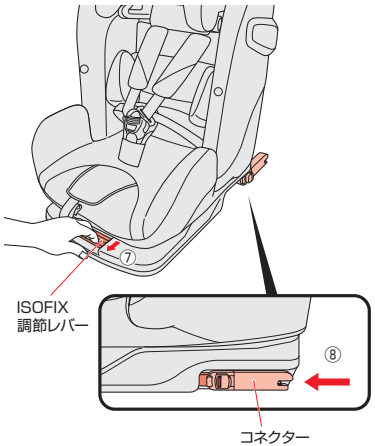


4 ※左右同時に操作してください。
④セーフティーボタンを押しながら、
⑤アンカーラッチ解除ボタンを押し込み、ベースをまっすぐ手前に引き寄せる。
⑥アンカーラッチがISOFIXバーから解除され、ISOFIXインジケーターが「緑色」から「赤色」になったことを確認する。

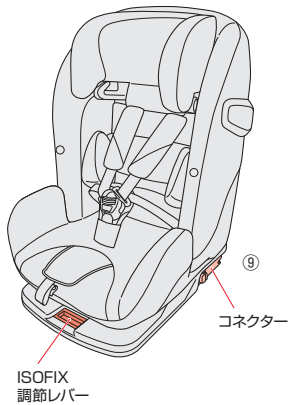


車からの取り外しかた

5 ⑦ISOFIX調節レバーを引きながら、
⑧左右のコネクターを収納する。



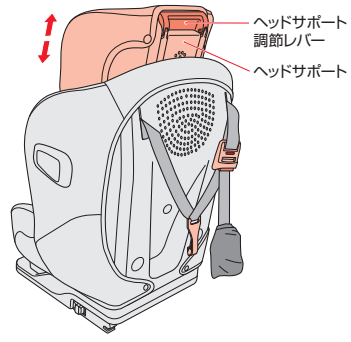
6 ⑨ISOFIX調節レバーから指を放し、調節レバーが戻りコネクターが動かないことを確認する。



肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の調節のしかた

・肩ハーネス位置（ヘッドサポートの高さ）は、9段階に調節できます。
・肩ハーネスがねじれていないことを確認のうえ調節してください。

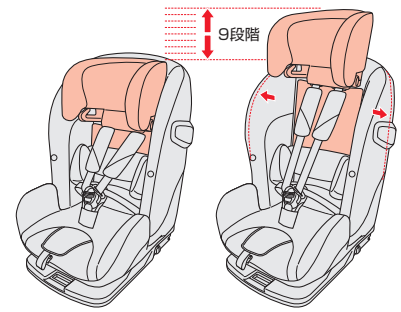
1 ①肩ハーネスをゆるめる。(P36参照)
②ヘッドサポート背面のヘッドサポート調節レバーを押し、ヘッドサポートの高さを調節する。



警告
・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの上端部より上に出る場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ヘッドサポート調節時は、可動部に手や指などを近づけない。
手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。

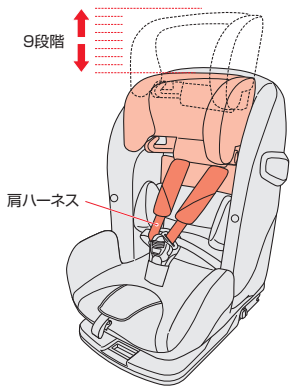
2 ③調節後、ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。

アドバイス
ヘッドサポートの上下の動きに連動して背もたれの横幅が変わります。
・ヘッドサポートを上げると横幅が広くなります。
・ヘッドサポートを下げると横幅が狭くなります。

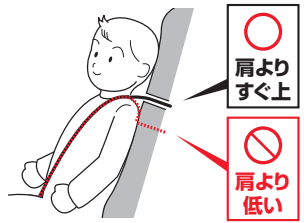


肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の目安

・お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ハーネス位置（ヘッドサポートの高さ）に調節してください。
※製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。



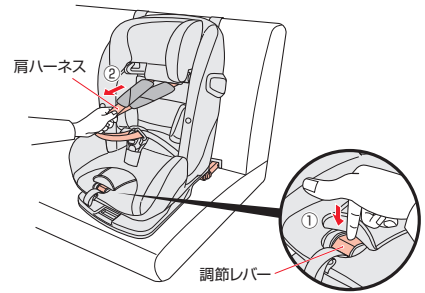
・肩よりすぐ上の位置に肩ハーネスの高さを調節する。



警告
・お子さまの肩より低い肩ハーネス位置を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈チャイルドシートモード〉お子さまの乗せかた

1 **〈肩ハーネスをゆるめる〉**
①調節レバーを押す。
・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
・肩パッドより下の肩ハーネスを引いてください。

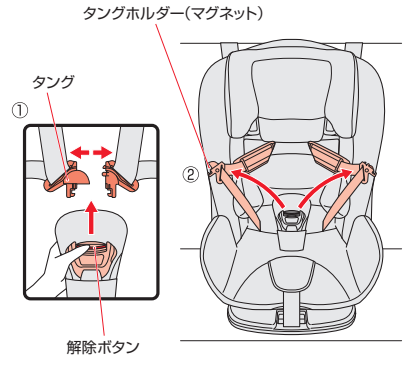


〈座面内部〉

アドバイス
・肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。
・重く感じる場合は、片方ずつ引っ張ってください。



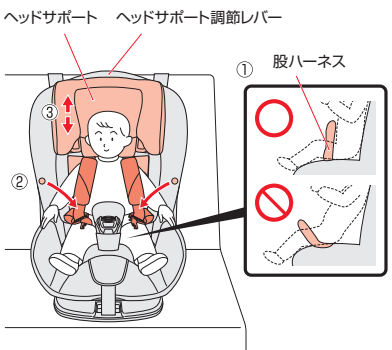
2 **〈タングを外す〉**
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスがねじれないように、左右のタングをタングホルダーにとめる。



〈チャイルドシートモード〉お子さまの乗せかた

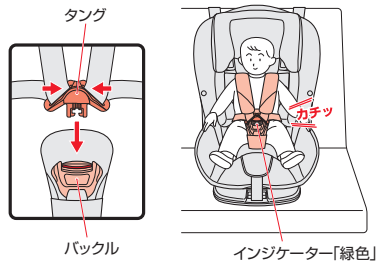
3 〈お子さまを乗せる〉

①お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
②左右のタングをタングホルダーから外す。
③お子さまの肩の高さに合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節する。(P34～P35参照)



4 〈タングを差し込む〉

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込み、バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。



危険

・タングをバックルに差し込むとき、「カチッ」と音がせず、インジケーターが「緑色」に変わらない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告

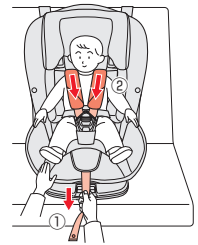
・タングをバックルに差し込むときは、指や手を挟まないように注意する。けがをするおそれがあります。
・バックルに水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

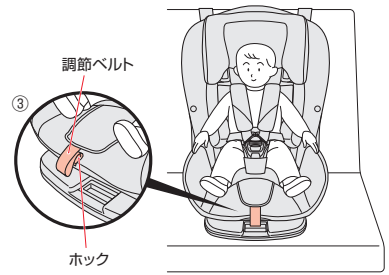
5 〈肩ハーネスを調節する〉

①調節ベルトのホックを外し、調節ベルトをまっすぐ引き、肩ハーネスを締める。
(ゆるめる場合は、P36を参照してください。)
②肩パッドが奥に入り込んだ場合は手前に引き出し、お子さまの肩に当たる位置に調節する。
③調節ベルトのホックをとめる。



お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。





警告

・肩ハーネスが肩にかかっていない状態で使用しない。
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



注意

・調節ベルトを横から引っ張らないでください。調節ベルトがねじれたり、破損するおそれがあります。



〈チャイルドシートモード〉使用時の確認

・正しくできていない場合は、もう一度P36～P38の手順をやり直してください。

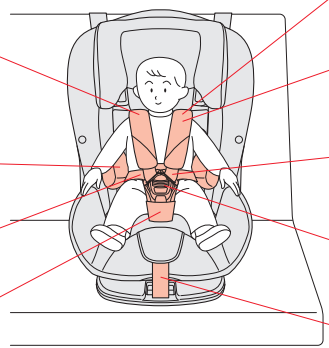


肩よりすぐ上の肩ハーネス位置を使用している。

サイドサポートクッションで腰周りが支えられている。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げている。

お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていない。



肩ハーネスがお子さまの肩にかかっている。

肩パッドがお子さまの首に当たる位置に調節されている。

肩ハーネス、腰ハーネスにねじれやゆるみがなく、しっかりと締まっている。

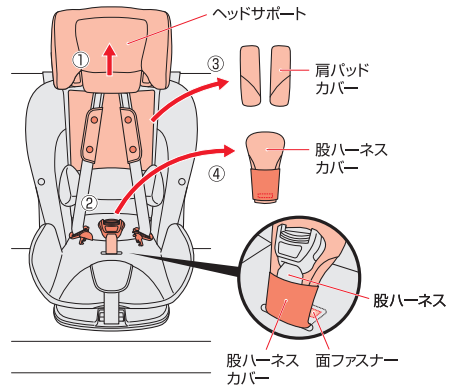
バックルのインジケーターが「緑色」になっている。

調節ベルトのホックをとめている。

〈ブースターシートモード〉肩ハーネス・バックルの収納

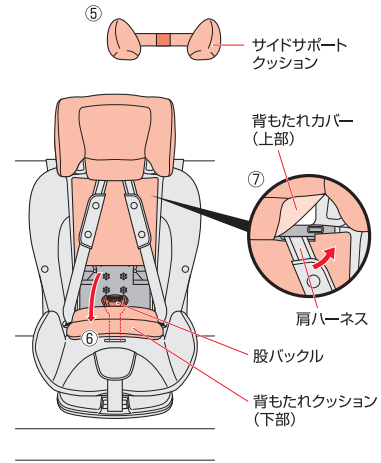
1

①ヘッドサポートを一番上まで上げる。(P34参照)
②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
③肩パッドカバーを取り外す。(P21参照)
④股ハーネスカバーの面ファスナーを外し、股ハーネスから股ハーネスカバーを抜き取る。



2

⑤サイドサポートクッションを取り外す。(P21参照)
⑥背もたれクッション(下部)をめくり、股バックルを座面から抜く。
⑦背もたれカバー(上部)をめくり、肩ハーネスを背もたれカバーから抜く。(左右)



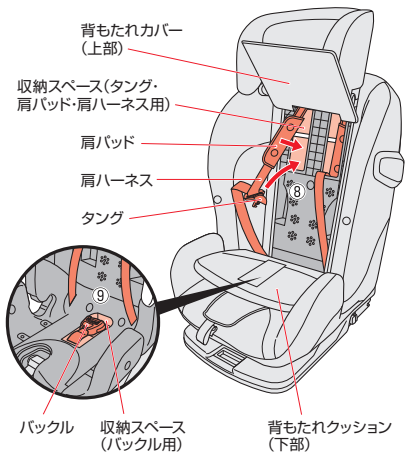
警告

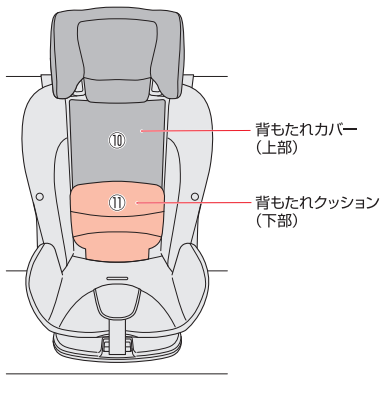
・取り外した肩パッドカバー、股ハーネスカバー、サイドサポートクッションは大切に保管すること。チャイルドシートモードで使用する場合には必要になります。

〈ブースターシートモード〉肩ハーネス・バックルの収納

3 ⑧背もたれカバー(上部)をめくり、タング、肩パッド、肩ハーネスを左右の収納スペースに収納する。
⑨背もたれクッション(下部)をめくり、バックルを座面の収納スペースに収納する。

4 ⑩背もたれカバー(上部)を戻す。
⑪背もたれクッション(下部)を戻す。





〈ブースターシートモード〉お子さまを乗せる準備

お子さまを乗せる前に確認してください。

・ISOFIXでチャイルドシートを取り付けた状態で、シートベルトのバックルにタングを差し込むことができる。



お子さまの乗せかたの手順 1 に進んでください。

・ISOFIXでチャイルドシートを取り付けた状態で、シートベルトのバックルにタングを差し込むことができない。



次の手順を実施してください。

①チャイルドシートを車の座席から取り外す。(P31～33参照)
・コネクターなどを収納してください。
・「シート保護マット」をご使用の場合は取り外してください。
②チャイルドシートを車の座席に乗せ、シートベルトのバックルがかくれないよう、また、座席の背もたれとチャイルドシートの背もたれのすき間がなくなるよう位置を調節する。
③シートベルトのタングをバックルに差し込めることを確認する。

お子さまの乗せかたの手順 1 に進んでください。

⚠警告

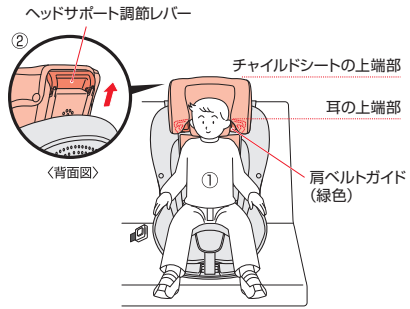
・お子さまが乗っていないときでもチャイルドシートをシートベルトで固定する。
急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。



〈ブースターシートモード〉お子さまの乗せかた

1 〈ヘッドサポートの調節〉

①お子さまを座席に深く座らせる。
②ヘッドサポート調節レバーを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節する。

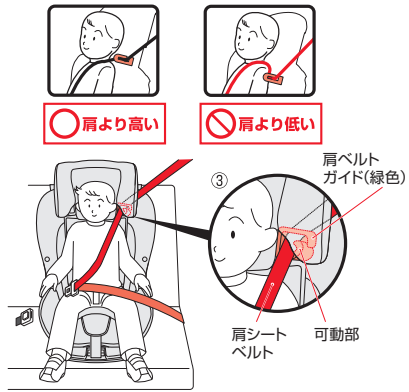


警告

・お子さまの耳の上端部がチャイルドシートの上端部より上に出る場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ヘッドサポート調節時は、可動部に手や指などを近づけない。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。

2 〈肩シートベルトを通す〉

③肩ベルトガイド(緑色)の可動部を下げ、肩シートベルトを通す。

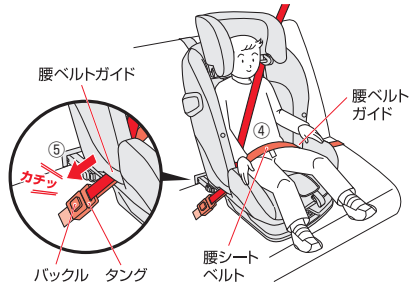


警告

・肩ベルトガイドはお子さまの肩より低い位置で使用しない。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

3 〈腰シートベルトをとめる〉

④腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し(左右)、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。
⑤シートベルトのタングをバックルに差し込む。



危険

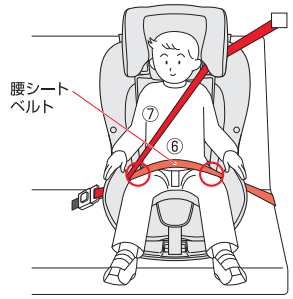
・バックルの長さがベルトガイド位置より長い座席には本製品を取り付けない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



ご不明の場合は弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。(P52参照)

4 〈腰シートベルトを下げる〉

⑥腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。
⑦シートベルトにねじれやゆるみがなく、しっかりと締まっていることを確認する。

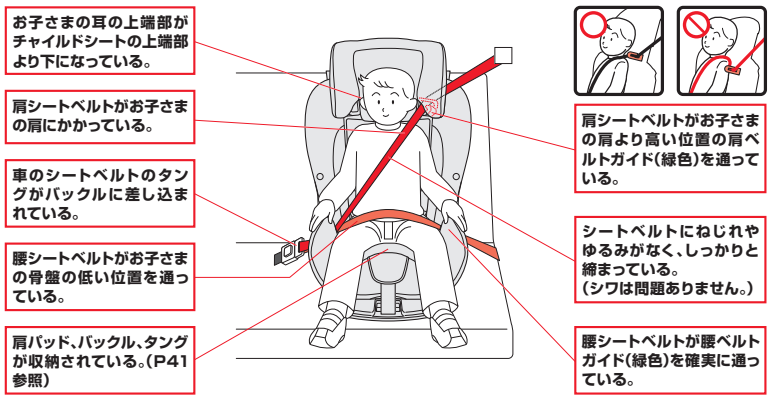


警告

・肩シートベルト、腰シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈ブースターシートモード〉使用時の確認

・正しくできていない場合は、もう一度P43～P44の手順をやり直してください。

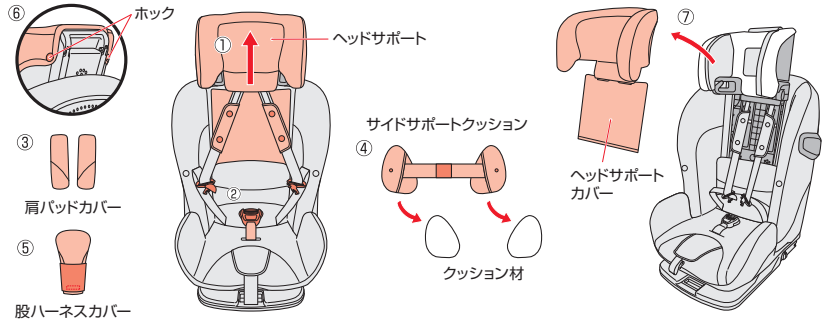


シートカバーの取り外しかた

※シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

1 **〈肩パッドカバー・股ハーネスカバー・サイドサポートクッション・ヘッドサポートカバーを取り外す〉**

①肩ハーネスをゆるめ、ヘッドサポートを最上段まで上げる。
②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
③肩パッドカバーを取り外す。(P21参照)
④サイドサポートクッションを取り外し(P21参照)、ホックを外し、内側のクッションを取り出す。(左右)
⑤股ハーネスカバーを取り外す。(P40参照)
⑥ヘッドサポート背面のホックを外す。(左右)
⑦ヘッドサポートカバーを取り外す。



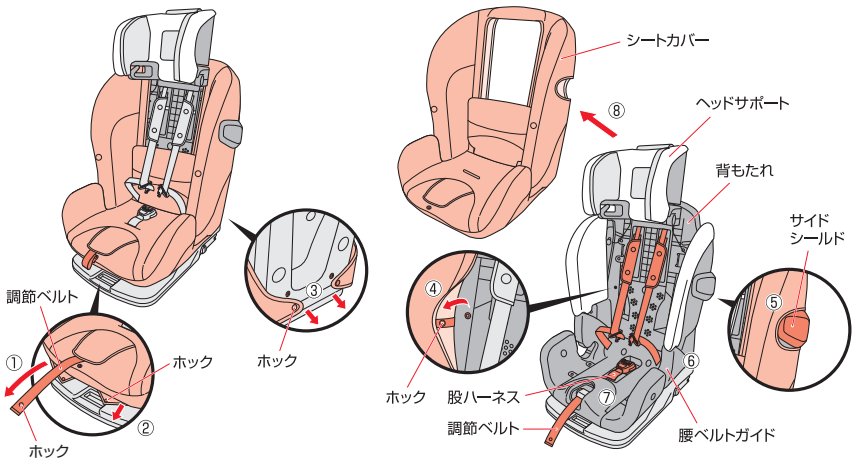
警告
・シートカバー、クッション材を取り外した状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ハーネスを取り外さない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意
・クッション材を洗わないでください。
・肩パッドは取り外しできません。
・発泡材を取り外さないでください。破損のおそれがあります。

シートカバーの取り外しかた

2 **〈シートカバーを取り外す〉**

①調節ベルトのホックを外す。
②シート部前側のホックを外す。(2カ所)
③背もたれ部背面のホックを外す。(2カ所)
④背もたれ部横側のホックを外す。(2カ所)
⑤サイドシールド部のシートカバーを外す。(2カ所)
⑥腰ベルトガイド部からシートカバーを取り外す。
⑦股ハーネス、調節ベルトを通し穴から抜く。
⑧ヘッドサポート上部からシートカバーを取り外す。



お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈シートカバー、肩パッドカバー、股ハーネスカバー、トップテザー保護パッド、ヘッドサポートカバー、サイドサポートクッションの洗濯〉

※サイドサポートクッションのクッション材を取り外してください。



※洗濯ネット使用、弱く絞る

注意
- 脱水機の使用は短時間(2〜3分)にしてください。破損のおそれがあります。
- 他のものと一緒に洗濯や脱水をしないでください。色移り(移染)や破損のおそれがあります。
- 肩パッドは洗濯できません。樹脂部分、ハーネスのお手入れに従ってください。

〈樹脂部分、ハーネスのお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉
- タオルなどで乾拭きしてください。
- 可動部、レバー付近にゴミがつまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉
- 40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉
- 40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

注意
- 本製品やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉
- 本装置を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

注意
- 屋外に放置し、雨などにさらさないでください。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。
- 各レバーが元の位置に戻っていることを確認してください。故障の原因になります。

〈廃棄するときは〉
- 事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- 地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困ったときには〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P52「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	アップリカホームページ「https://www.aprica.jp/」や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。(P9、P10「座席の条件」参照) 取り付けできない座席については、P11「座席の条件」、P13「シートベルトの条件」を参照ください。

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。(異音の原因にもなります。)	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。(P22「取り付け準備」、P24「取り付けかた」参照)
	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P52「アフターサービスについての連絡先」参照)
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。(P24「取り付けかた」参照)

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してもバックルにタングが差し込めない。	ヘッドサポートの位置を確認してください。(P34「肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の調節のしかた」、P35「肩ハーネス位置(ヘッドサポートの高さ)の目安」参照)
	厚手の上着を着せている場合は、車内温度を調節し厚手の上着を脱がせてください。

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してもバックルにタングが差し込めない。	お子さまが座席に浅く座り、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っている場合は正しく乗せ直してください。(P37〈チャイルドシートモード〉「お子さまの乗せかた」参照)
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	左右の肩ハーネスのどちらかがゆるく感じる場合は、お子さまの腰の位置を中央に戻してハーネス調節ベルトを引き、肩ハーネスを締めなおしてください。
肩ハーネスのねじれがとれない。	右のQRコードから対処方法をご覧ください。

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
リクライニング操作ができない。	シート部を軽く押しながらリクライニングレバーを引きリクライニング位置を調節してください。(P19「リクライニングのしかた」参照)
	3段目にセットできない場合は、 ・テザーベルトをゆるめるとセットできます。セット後は必ずテザーベルトを締めてください。 ・リクライニングができる座席の場合は、背もたれを倒し3段目にセットしてください。
アンカーラッチが解除できない。	車のISOFIXバーの形状により、アンカーラッチ取り付け後も本製品がある程度左右に動きますが、ISOFIXバーの端にアンカーラッチが寄り過ぎ干渉することで解除できない場合があります。その際は本製品を中央(アンカーラッチをISOFIXバーの中央)に戻してからアンカーラッチを解除してください。
	車のISOFIXバーの位置や座席の形状により、アンカーラッチに負荷がかかり解除できない場合があります。その際はベース前部を持ち上げ、ベースの角度を調節しながらアンカーラッチを解除してください。
片側のアンカーラッチが解除できない。	ベースを押し込み再度左右のアンカーラッチをISOFIXバーに取り付けたのち(P26参照)、解除できなかった側のアンカーラッチ解除ボタンを先に押しながらもう一方のアンカーラッチ解除レバーを押し込み、左右同時にベースを手前に引いてください。(P32参照)

保証について

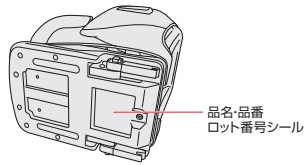
〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中**（購入日より1年間です。）**に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。**（修理箇所の保証期間は1カ月です。）**
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理ができないこともあります。
（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、
品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〈電話連絡先〉
ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL 0120−415−814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155
受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

MEMO